

小4 立体

ねじねじ ぐりぐり ひらめいた

授業者 柿崎 丈史

1 題材について

様々な形や大きさの木切れに、洋折、洋灯呂、ヒートンから、自分が使ってみたいものを選んで取り付け、引っかけたり、形づくりをしたりし、新しい形を発想していくことができる題材である。

素材に関わることで得られる直感を大切に、諸感覚を十分に働かせる授業

本題材は、様々な形や大きさの木切れに、洋折、洋灯呂、ヒートンをねじ込むときの音や手の感覚などを感じながら、様々な形をつくり出していくことができる。活動の中で、「面白い形ができた」「自分や友達とつなげたら、どんどん形が変化していったよ」という驚きや、楽しさを生み、友達と関わることで、見方や感じ方を深めることができる考える。

2 育てたい子どもの姿に迫るために

○ ねじの取り付け方を知り、イメージに合った木切れのつなぎ方を工夫することができる。

〈知識・技能〉

○ つくりたい物のイメージを思い付いたり、ねじや木切れのつなぎ方を工夫して表したりし、友達との関わりから新しい見方や感じ方をしていくことができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

○ 豊富な数の材料を使って、つなぎ方を考え、「どんどんつくりたい」「イメージしたものを立体に表したい」などと主体的に活動することができる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

3 指導計画（2時間完了）

活動1 : 教室一面に山積みされた木切れを見せ、「スタートの木」を探し、「おためしタイム」で、様々なねじから、木のどの部分に取り付けるのかを考え、木切れを接合したり、飾りを付けたりすることができるようにする。（20分）

活動2 : 「ねじねじ ぐりぐりタイム」で、様々なねじを付けたたり、木を組み合わせたたりして、思い付いたことや自分の表したい形をつくる。友達と材料の選び方や接合の仕方を伝え合うことで、発想を広げるようにする。（25分）

活動3 : 「できたよ！こんな形 いいね！こんな形」で、話し合いを通じてねじを使った作品のよさや面白さを感じ取れるようにする。（45分）

【本時】

4 本時の指導

見どころ

様々な木切れやねじを選んで、工夫して組み合わせたりつなげたりする面白さを発見する姿。

本時における「造形的な見方・考え方」

様々な木切れから選んでいくことで、大きさ、厚み、形の違いを気付く活動を通して、今までの経験や用具を適切に扱いながら、表現のよさや面白さを捉える。また、表現の多様性について気付き、表現する楽しさを味わう。

時間配分	学習活動	指導上の留意点
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な形や大きさの木切れ、ねじ（洋折、洋灯呂、ヒートンなど）を豊富に用意しておく。 ・ 作品を引っかけることができるような高さに、綱や紐を付けておく。 ・ 作品を置いてつなぐことができるように、台や机を用意しておく。 	
2	1 豊富な量の木切れやねじと出会う。	○ 様々な形や大きさのバルサ材の木切れやねじ（洋折、洋灯呂、ヒートン）を豊富に用意し、布をかけて置いておく。子どもには材料との最初の出会いを大切にするため、布を「ジャーン」と言って布を取ること、わくわく感を出すようにする。
2	2 本時のめあてを知り、活動の見通しをもつ。	
めあて 「使いたい木切れやねじを選び、ねじを取り付けることで、思い付いたことや試したいことをやってみよう！」		
3	3 豊富な量の木切れから、「スタートの木」を探す。	○ 子どもが様々な形や大きさの木切れがあることに気付き、その中から、使いたい木切れを選ぶことができるよう「スタートの木」を設定する。
5	4 「スタートの木」に選んだねじをどの部分にどれくらいの数を付けるか考え、様々な形をつくる。 〔おためしタイム〕	○ じっくりと材料と向き合っつてつくることのできるよう、ここでの活動は、個人で試す場とし、「どんなことができそうかな」と声を掛けていく。 ○ 木の種類によって、四つ目きりを使えるような場をつくっておく。
28	5 様々なねじを付けたり、木を組み合わせたたりして、思い付いたことや表したい形をつくる。 〔ねじねじ ぐりぐりタイム〕	○ 子どもの発想が広がるよう、木切れやねじを使ってどんどんつなげたり、形を変化させたりしている作品を取り上げ紹介する。 ○ 自然に友達と関わることで、友達の製作したものをつながる楽しさや、考え方の違いやよさなどを認めていけることができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>友達と関わりながら、面白い形や表したい形をつくり出したり、つなげたりしていく活動の中で、試しながらイメージを広げてつくることのできる。 【活動の様子、作品、つぶやき】〈思考・判断・表現力〉</p> </div>		
5	6 授業の振り返りをし、次時への見通しをもつ。	○ 本時の学習で、工夫したところや自己評価をワークシートに記述し、めあてに基づく振り返りができるようにする。 ○ 児童の気付き、工夫などを称賛する。 ○ 次時で、作品完成であることを知らせ、活動への意欲を高めるようにする。

